

卒業論文の要旨

論文題目	手話ポエムに必要とされる日本手話の要素 — CL、RS に影響する NM の表出 —
氏名	玉田 宙
メジャー	言語学
(要旨)	
<p>本研究は、日本手話を基底言語とする「手話ポエム」に焦点をあてて、手話ポエムに必要とされる日本手話の文法要素（CL 表現、RS 表現、NM 表現）を分析し、考察することを目的としたものである。</p> <p>手話ポエムは、ろう者の「音楽」とも言われる芸術表現だが、実際に手話ポエムを表現できるろう者は少ない。聴者は、小学生から国語や音楽の授業で日本語の文法や文学、歌などを学ぶが、日本のろう学校でろう児が日本手話の文法や構造、手話ポエムを学ぶことはなく、先行研究も極めて少ない。聴者が歌を楽しむように、ろう者が手話ポエムを楽しみ、その魅力を社会に伝えることができれば、少数言語として衰退に向かう日本手話への理解や普及につながるのではないかと考える。</p> <p>分析する手話ポエムは、日本手話母語話者4名が創作したもので、その動画から文法要素の「CL 表現」「NM 表現」「RS 表現」を詳細に分析し、記述する。更に、CL 表現と RS 表現は、NM 表現によって意味が左右されるため、NM 表現の働きが確認できる静止画像データを作り、これらを基に分析し、考察していく。</p> <p>本研究では、これらのデータ分析から、日本手話の日常会話とは異なる芸術表現としての「手話ポエム」の存在を明らかにし、日本手話への理解を発展させたい。</p>	
(指導教員の推薦のコメント)	
<p>本卒業論文は、「手話ポエム」という芸術表現の特徴を言語学的に考察した質的研究で、大変意欲的な研究論文です。とりわけ、その考察対象言語である「日本手話」については、近年、その文法体系や談話の構造が明らかにされつつあるものの、未開拓の部分がまだ多く残されています。本卒業論文は、「手話ポエム」にみられる「日本手話」の文法要素に着目し、その出現パターンと傾向を微視的に分析することで、「手話ポエム」の芸術性を言語学的に可視化しています。日本に存在する言語と文化を新たな視座から捉えた新規性の高い、大変興味深い研究となっています。</p> <p>当然のことながら、日本で話されている言語は、日本語だけではありません。日本手話への理解を深めることは、多文化共生社会の実現において非常に重要な課題です。本卒業論文は、日本に存在する言語・文化の多様性の理解に大きく貢献するものであり、言語研究・学習・教育の様々な面において、多くの可能性を秘めていると言えるでしょう。</p>	